



福岡県感染症情報ホームページでは、
感染症発生情報、病原体検出情報などを
ご覧になれます。

がん感染症疾病対策課感染症対策係
担当 中尾 長藤
直通：092-643-3597
内線：3065

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第46週（令和7年11月10日～令和7年11月16日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

インフルエンザの定点当たり報告数が20.89となり、前週と比較して1.63倍に増加しました。注意報レベルが継続しており、今後の動向に注意が必要です。

本疾患の原因となる病原体はインフルエンザウイルスで、主に患者の咳やくしゃみ等のしぶきに含まれる飛まつを吸い込んだり、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れたりすることで感染します。潜伏期間は1～3日程度で、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。症状がある場合は、早めにかかりつけ医等の地域で身近な医療機関に電話で相談しましょう。本疾患と診断された場合は、外出を控え自宅等で療養しましょう。感染拡大防止のため、手洗い、適切なマスクの着用、こまめな換気、咳エチケット等に努めましょう。

本疾患にかかった小児・未成年者において、薬の種類や服用の有無に関わらず、急に走り出す、部屋から飛び出す等の異常行動が報告されています。発熱から少なくとも2日間は、小児・未成年者の様子を注意深く見守り、異常行動に備えて玄関や窓を施錠する等の対策を徹底しましょう。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	19	659	195	12,192
腸管出血性大腸菌感染症	3	252	67	3,854
A型肝炎	1	9	1	119
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3	72	11	1,065
後天性免疫不全症候群	1	37	9	732
侵襲性肺炎球菌感染症	1	114	34	2,891
水痘（入院例）	1	26	8	575
梅毒	9	665	110	11,957
百日咳	24	3,118	598	85,476

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	110	0.90	0.73	7,542	1.95
インフルエンザ（注意報レベル）	2,549	20.89	1.63	84,183	21.82
急性呼吸器感染症	9,096	74.56	1.17	301,188	78.35
RSウイルス感染症	63	0.90	0.66	2,067	0.88
咽頭結膜熱	49	0.70	1.48	540	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	362	5.17	1.29	4,623	1.97
感染性胃腸炎	353	5.04	1.14	7,993	3.40
水痘	36	0.51	2.40	533	0.23
手足口病	46	0.66	1.21	340	0.14
伝染性紅斑（警報レベル）	87	1.24	1.18	1,545	0.66
突発性発しん	29	0.41	1.04	512	0.22
ヘルパンギーナ	9	0.13	0.64	218	0.09
流行性耳下腺炎	3	0.04	0.60	79	0.03
急性出血性結膜炎	1	0.04	－	5	0.01
流行性角結膜炎	44	1.69	0.94	487	0.70
細菌性髄膜炎	0	0.00	－	4	0.01
無菌性髄膜炎	0	0.00	－	16	0.03
マイコプラズマ肺炎	13	0.87	0.76	682	1.42
クラミジア肺炎	0	0.00	－	5	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	－	6	0.01